

# 中国・四国ブロック支援活動報告について ～宮城県名取市～

## 1. はじめに

この度の東日本大震災により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

中国・四国ブロック21名は、平成23年4月4日(月)～4月10日(日)の7日間、宮城県名取市において、震災支援活動(下水道施設一次調査)を行いました。

以下、活動状況について、報告をさせていただきます。

## 2. 支援先自治体及び状況

○支援先自治体：宮城県名取市

○名取市の被災状況

※市役所からの聞き取り(4月下旬現在)

- ・死者：約 900人
- ・行方不明者：約 200人
- ・避難者：約1,200人
- ・公共下水道〈ポンプ場〉

：6施設のうち4施設稼働停止。1施設応急対応中。

### ●調査地域の状況

名取市役所周辺を含めた内陸部は、津波の被災を受けていないことから、地震の影響による路面の沈下及びクラックや家屋の損傷等見受けられるものの地区全体としては、著しく生活に支障をきたすという感じは見受けられませんでした。

閑上(ゆりあげ)地区等の津波の被災を受けた地区は、大半の家屋が流出。

おびただしい瓦礫の中、道路はなんとか通行可能な状況。自衛隊及び消防活動に支障にならないよう通行許可証を掲示しての調査となりました。

津波被災の惨状



## 3. 支援人数及び氏名・自治体名

○支援人数：中国・四国ブロック21名

名簿					
班名	人数	自治体	職名	氏名	調査期間
1	4	広島県	土木	多田 吉孝 (班長)	4/4～4/8(5日間)
		広島県呉市	土木	實谷 周一	
		広島県大竹市	土木	藤田 義雄	
2	4	愛媛県東温市	土木	増富 友機	4/4～4/10(7日間)
				池田 裕二 (班長)	
				上岡 浩二	
				渡部 真典	
3	4	岡山県備前市	土木	野崎 信二 (班長)	4/6～4/10(5日間)
				吉野 孝義	
				池田 敏浩	
4	5	香川県	土木	川端 玲司	4/4～4/10(7日間)
				益田 学 (ﾌﾞﾛｯｸ総括)	
4	5	香川県丸亀市	土木	建石 猪智郎	4/4～4/10(7日間)
				中村 聡志 (班長)	
				阿部 慶幸	
5	4	山口県山陽小野田市	土木	吉家 礼	4/4～4/10(7日間)
				井上 岳宏 (班長)	
				中村 景二	
				兼本 浩二	
計	21			笹木 純一郎	

※他、関東ブロックからの支援あり

- ・群馬県：4名(4/6～10)、
- ・埼玉県：3名(4/7～13)、
- ・神奈川県：4名(4/8～11)

## 4. 支援期間

○調査期間：平成23年4月4日(月)～4月10日(日)

※各班の調査期間は、上表のとおり

(注) ・3班は、6日(水)から名取市入り。

(4,5日は山元町での調査)

### ●中国・四国ブロック全体打合せ

日時：4月4日(月)9:00～ 場所：名取市役所内

参加者：中国・四国ブロック21名

名取市建設部下水道課職員

### ●中国・四国ブロック解散式

日時：4月10日(日)16:15～ 場所：名取市役所内

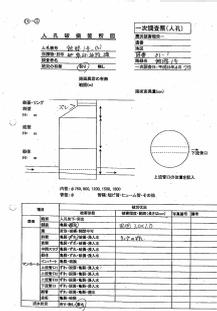
参加者：中国・四国ブロック17名 ※1班除く

名取市建設部下水道課職員

## 5. 一次調査

### (1) 作業概要

- ①エリア内のマンホールの開閉を行い、マンホール内部の被災状況を確認し、被災があった場合に限り、一次調査票（人孔）（右上図）に必要事項を記入しました。また、被災が比較的大きい箇所については、写真を撮影しました。また、被災状況について、被災の程度の概ねの判定（A～C）も合わせて記入しました。※ここでは、判定基準の説明は割愛します。
- ②管路の被災状況の確認として、可能な範囲で、マンホール間について、ミラーとライトにより、管路にたわみや管口付近に異常がないかを目視にて確認しました。その調査結果を一次調査票（管路）に記入しました。
- ③調査済み箇所や被災が確認された箇所については、系統図にマーカーペン等で印や被災内容を記載しました。また、津波によりポンプが稼働せず、マンホール内に滞留水が確認された場合も管路系統図（右中図）に記載し報告しました。



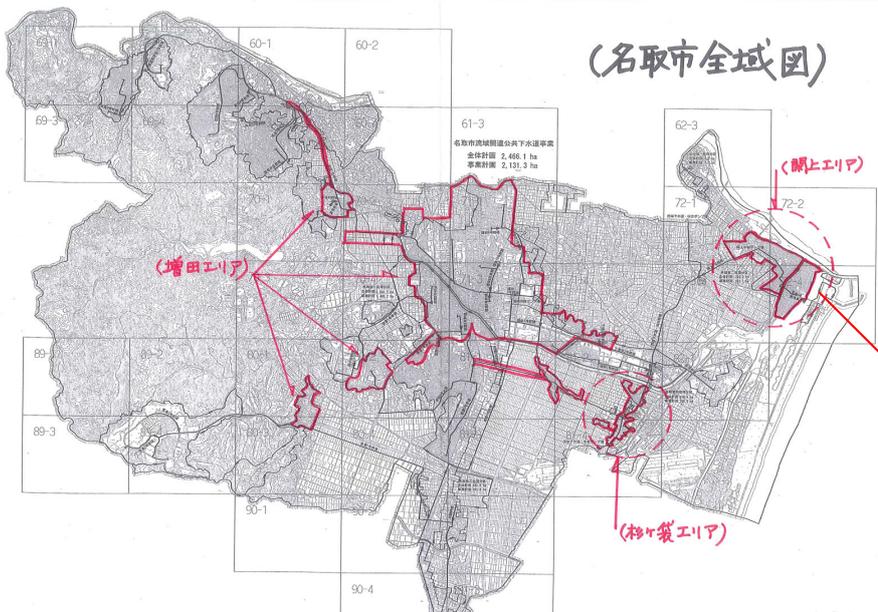
← 一次調査票(人孔) (1班より)

↓ 管路系統図(2班より)



### (2) 調査担当エリア

大きく「増田」、「閑上」、「杉ヶ袋」の3エリアに分割。 ※下図のとおり



各班の担当エリア	
班名	担当エリア「」名 ※○は分割エリア名
1	「増田」・・・①、⑨、⑬、⑭
2	「増田」・・・② 「閑上」・・・③、④
3	「増田」・・・③ 「閑上」・・・①、④
4	「増田」・・・④、⑩ 「閑上」・・・② 「杉ヶ袋」
5	「増田」・・・⑤、⑪、⑫ 「閑上」・・・③
群馬県	「増田」・・・⑥
埼玉県	「増田」・・・⑦ 「閑上」・・・③
神奈川県	「増田」・・・⑧、⑨

閑上エリアの惨状



調査期間の前半は、「増田」エリアを⑭のエリアに分け、①～⑤のエリアを各班で一斉に調査開始しました。順次、担当エリアが完了すれば、次の担当エリアへと調査着手していきました。

「増田」エリアの一次調査の目途が立ったのと「閑上」、「杉ヶ袋」の道路面の瓦礫撤去の目途が立ったのと相まって、期間の後半は、この2エリアの調査に着手しました。（「閑上」エリアは④分割）

※各班の担当エリアは、上表のとおり。

(3) 各班の調査状況 (写真)

以下に、各班の調査状況の写真を示します。

【増田エリア】



【閑上エリア】



6. 下水道管渠等の状況

(1) 各班の被災等状況報告

毎日の調査完了後、班毎に名取市役所にて、名取市下水道課職員に被災等の状況報告(調査票や図面、写真等を提供)を行いました。

また、宮城県下水道課には、毎日の調査内容(調査延長及びスパン数、被災マンホール数)をFAX又はメールで報告しました。

(2) 各班の被災状況調査 (写真)

以下に、各班の被災状況の写真を示します。

【増田エリア】



⑤エリア：マンホール隆起：5班



①エリア：マンホール隆起：1班

【閑上エリア】



②エリア：マンホール隆起：4班

【杉ヶ袋エリア】



③エリア：マンホール隆起：3班

(3) 中国・四国ブロック 名取市調査集計結果報告

以下に、中国・四国ブロックにおける名取市調査集計結果を示す。その集計結果を解散式で報告しました。

集計									
自治体名	宮城県名取市								
調査場所 【エリア名】	名取市 (名取第1.2処理分区) 【増田、閑上、杉ヶ袋】								
調査年月日	平成23年4月4日(月)～10日(日)：7日間				天候				
調査班名	5班体制 (注) 1,2日目及び6,7日目は、4班体制			構成人員	21名(5班分の計)				
	調査内容 (5班分の計)								
	名取市	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	累計
【一次調査 (今回調査)】	実施延長 (km)	10.003	22.068	21.256	20.318	19.096	6.237	12.716	111.694
	実施スパン数	287	705	715	608	618	182	372	3487
	被災マンホール数	19	28	51	33	71	20	99	321
	名取市	(概算) 累計							
【二次調査 が必要と 思われる。】	必要延長 (km)	14.423							
	必要スパン数	385							
	必要マンホール数	282							
備考									

【参考】

二次調査の必要性の判断目安  
 ① 人孔内の湧水  
 ② 人孔の浮上・沈下  
 ③ 管内の途中水没・著しい  
 ④ 本管の破壊等  
 ⑤ 管内への著しい侵入水  
 ⑥ 管内への土砂流入  
 ⑦ その他  
 (本管上の大きな陥没、隆起、段差等が、管路にも影響している場合)

- 各班1日における調査延長：約4km
- 名取市における被災マンホール及び管路の割合：約1割
- ※但し、閑上エリア内の大半のマンホールは、滞水状態にあったため調査不能。その間の管路は、全て被災。

(4) 中国・四国ブロック 同志

同じ志を持ち、苦難を共にした21名の仲間たち。今後とも助け合い、交流を図っていけるものと確信しています。

【名取市下水道課：壁側起立】

【岡山県備前市・真庭市の仲間たち：奥の前列と2列目】



【愛媛県東温市の仲間たち】



【山口県山陽小野田市の仲間たち】

～市役所前にて～



【岡山県倉敷市、香川県、香川県丸亀市の仲間たち】

～閑上エリアにて～



※全員の方の紹介が出来なかったことをお詫びします。

## 7. 支援活動を通しての感想

活動を共にしてきた21名全員に感想をいただきたいところではありますが、紙面の都合もあり、代表として5班各班長に感想をいただきました。

- 管渠は、担当した中だけでもほとんど被災していない地区や壊滅的被害の地区があるなど、被災にばらつきがあったことから、震災を受けて全ての管渠を耐震化するなどの一律な対策より、今回壊滅的被害を受けた処理場等の代替のきかない根幹施設の耐震化などに集中投資して防災や減災を図るべきと感じました。

被災地の状況や調査の感想としては、過酷だったというのが率直なところですが、その場所に立ったからこそ、再度復旧に携われる機会があれば、可能な限り支援したいという思いが頭から離れません。班員ともども、名取市の復興を心よりお祈り申し上げます。

(1班：広島県 多田 吉孝)

- 津波による被災地区（閑上エリア）の調査は、体力的にも精神的にもハードな作業となりましたが、無事故で調査を終了し状況報告する事ができ、正直ホッとしています。

被災地の下水道施設が1日でも早く復旧することを祈っています。(2班：愛媛県東温市 池田 裕二)

- この震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

見渡す限り一面の瓦礫、放置された車、船舶。津波にさらわれた現地の惨状をまのあたりにし、行政に携わるものとして危機管理の重要性をあらためて認識しました。

定期的に行われる我々が億劫と思いがちな防災訓練にしても、もし危機意識をもって行っていなかったとすれば、さらに不幸な事態になっていたと確信します。

日頃の訓練、物資の供給等、もしもの時のシミュレーションをあらためて検討する必要があると感じました。最後に今回同じ目的を持ち、共に活動し協力していただいた同志の方に感謝を申し上げます。

(3班：岡山県備前市 野崎 信二)

- 被災地の皆様には改めてお見舞い申し上げます。被災地復興への第一歩との思いを胸に今回の支援活動に参加させていただきました。

東北地方は耐震化が進んでいると聞いておりましたとおり、下水道管渠施設の被害は少ないように感じました。ただ、処理施設を含めた下水道システムととらえると大きなダメージを受けており、早急な復旧を心よりお祈りいたします。(4班：岡山県倉敷市 中村 聡志)

- 昨夏、水害で市街地が被災した際に、県内は勿論全国の方々から助けていただき、その恩返しにと参加した今回の支援活動でしたが、実際の現地は我々の想像を超えた状況で、特に津波被災地の凄惨な光景は言葉も出ないくらいでした。そんな中、きっとご自身も被災者であろう地元自治体職員の皆さんの、一日も早い復興を目指して奔走する姿に「少しでも役に立ちたい！」の気持ちで全力投球した7日間でした。

元通りになるまでには相当な時間が必要だと思いますが、どうぞ健康第一で頑張ってください。機会があればまた参加します。

最後になりましたが、快く送り出してくださった職場の皆様と家族に深く感謝します。

(5班：山口県山陽小野田市 井上 岳宏)

## 8. おわりに

閑上地区での調査時に、被災された方が壊れた家の瓦礫の中で思い出の品を懸命に探されている姿がありました。そのような光景に胸が締め付けられ、「この地震・津波の脅威・惨状は、絶対に忘れてはならない！」と強く心に刻みこみました。

私たち21名は、震災の支援活動にそれも公務で関わったことを大変光栄に思う次第です。私たちの活動が、微力ではありますが、名取市様の一助になりますことを期待しております。

最後になりましたが、名取市職員の方々へ、今後、二次調査や災害査定等、ご多忙な日々が続くものと思われませんが、どうかお体をご自愛いただきますようお願いいたします。

”がんばろう！なとり”

(中国・四国ブロック総括 益田 学)